

# 商業英語初級クラス

—— 検定対策と実務能力養成の狭間に ——

中 原 功 一 朗

## I はじめに

筆者は、約3年間、国際交流事業に実務者レベルで携わり、数多くの英文書類、ビジネスレターを作成した。また、専修学校（全日制）において約1年間、各種学校（夜間一般）において約3年間、商業英語初級を担当した。いずれのクラスにおいても、目標を、1）日本商工会議所商業英語検定試験C級合格、2）基本的な<sup>1)</sup>コレポンの理解、作成という実務能力養成、として学生の指導にあたった。

専修学校、各種学校における実用英語教育の現場で、筆者が常々考えていたことをまとめ、大学における実用英語教育について考えるヒントとした。

本稿においては、前述の商業英語初級クラスにおける2つの目標のうち、いずれか一方に極端に偏った授業展開をした場合の予想される弊害について述べる。さらに、両目標達成のための効果的な授業展開について提案する。この問題を論じるにあたり、英語教授法の理論や近年の国際英語についての諸説にも言及する。

---

注1）オファー、クレームなどで、契約書などは含まない。（授業で取り扱う範囲については、資料1を参照。）

## II 目標設定の根拠

社会的ニーズは、言語教育の方針、目標に反映する<sup>2)</sup>。前述2つの目標設定の根拠となる全日制および夜間一般クラスに対する社会的ニーズについて、以下に述べる。

### 1. 全日制

専修学校教育の大きな柱は、職業教育である。卒業後の進路としては、学生のほぼ全員が就職を希望している<sup>3)</sup>。

上記のような専修学校の特性からして、ある程度仕事をこなせるような実務能力を持つ卒業生を社会に送り出すことが、専修学校の社会的役割と言える。また、学生がより有利に就職活動を展開するためには、より多くの資格を取得する必要がある。

### 2. 夜間一般

夜間一般クラスの受講者は、主に、社会人、ダブルスクール族<sup>4)</sup>で構成されていた。

前者は、職場で英文のビジネスレターの読み書きが必要なので受講することにした人が多かった。第一目標は、実務能力の養成であった。そして、その結果として、資格も取得できればなお良いとのことであった。

後者は、就職を目前に、資格取得が第一目標であった。そして、実務知識もある程度学びたいとのことであった。

---

2) Strevens, Peter, *New Orientations in the Teaching of English*, Oxford University Press, 1977, pp. 14-15.

3) 専修学校、広島YMCAビジネス専門学校における就職状況：1986年度、卒業生80名中71名が就職希望。1987年度、119名中114名。両年度とも希望者は100%就職。(同校、1988年8月調べ)

4) 大学・短大に籍を置き、授業の合間や放課後、各種学校などに通う学生。

夜間一般クラスにおいては、上記のような状況をふまえて、受講者のニーズに応えるような授業展開を行う必要があった<sup>5)</sup>。

### Ⅲ コース概要

全日制、夜間一般コースの概要は、表1に示すとおりである。

### Ⅳ 商業英語検定試験

#### 1. 趣 旨

日本商工会議所の示す本検定試験の趣旨は、次のとおりである。

#### 趣 旨

国際貿易の進展にともない、貿易業務は日増しに増大複雑の傾向にあり、この際語学にたんのうな貿易実務者を養成、確保することは、企業経営の健全化に寄与するところ少なくないと信じます。このような観点から、日本商工会議所ならびに各地商工会議所は、わが国貿易振興の一環として、商業英語検定試験を統一した基準によって実施するものであります。これはただ単に個人の能力を検定測定し、また格付けるのみでなく、その能力を公に認め、わが国商業英語の向上発展に資せんとする次第であります。

日本商工会議所

出所：日本商工会議所編『商業英語検定試験問題集CD編』日本商工出版、1988年、3ページ。

#### 2. 検定取得の意義

初級の検定取得者が実社会における即戦力であるとは言い難い。その程度の検定取得のために時間を割いて対策を講じるよりも実力養成に力を尽くすべきだという見解もある。しかし、検定取得には、次の3つの意義がある。

##### a. 企業の評価

初級の検定取得は即戦力とはみなされないが、就業意欲の現われとみなさ

---

5) 夜間一般クラスの受講者構成、ニーズは、筆者が担当したクラスにおけるもので、開講日の各受講者の自己紹介より得たインフォメーションである。

れる場合が多い。

b. 能力の証明

どの程度の能力があるかを取得級によって公に証明できる。

c. モーティベーションと自信

モーティベーションが学習成果を左右する鍵を握るということは、人間の学習に関する多くの研究や実験により示されている<sup>6)</sup>。言語学習における基本的な2種類のモーティベーションについては、次のように定義されている。

Two different clusters of attitudes divided two basic types of motivation: instrumental and integrative motivation. Instrumental motivation refers to motivation to acquire a language as means for attaining instrumental goals: furthering a career, reading technical material, translation, and so forth. An integrative motive is employed when a learner wishes to integrate himself within the culture of the second language group, to identify himself with and become a part of that society.<sup>7)</sup>

ESL 学習者にとっては、後者 (integrative motivation) が学習成果を大きく左右する<sup>8)</sup>。しかし、日常生活を英語で送っていない日本国内のEFL 学習者の状況は、英語国におけるESL 学習者のものとは異なる。

オランダ人は、複数の外国語に囲まれて生活している。その環境により、外国語を知らないと屈辱感を味わう<sup>9)</sup>。しかし、日本における言語環境では、そのような心理は生まれない。

以上のことから、日本国内のEFL 学習者にとっては、前者 (instrumental

---

6) Brown, H. Douglas, *Principles of Language Learning and Teaching*, Prentice-Hall, 1980, p. 112.

7) *Ibid.*, p. 114.

8) Nakamitsu, Yoshiaki, "The Teaching of Writing to Japanese College Students," *BULLETIN OF THE INSTITUTE FOR THE STUDY OF ECONOMICS, TOKUYAMA UNIVERSITY*, No. 7 (March 1985), p. 144.

9) Moulton, William G., *A Linguistic Guide to Language Learning*, 1966, p. 21.

motivation) が大いに学習成果を左右することが予想される。当面の目標が具体的であればあるほど、学習者は強いモチベーションを持つであろう。特に、全日制の学生にとっては、検定取得という具体的で身近な目標が、強いモチベーションを湧かせると思われる。

低位の級からステップバイステップで取得して行く過程において、学習者は自分の成長を実感でき、自信がつく。そして、次のステップへのファイトが湧く。こうしたポジティブな心理的循環は、学習成果を高める。

### 3. 検定試験概要

C級の試験問題は、資料2に示すとおりである。内容としては、概ね次のようなものである。

#### a. 英文解釈 (制限時間 40分)

文章訳 各20点×4題

用語訳 各4点×5題

#### b. 英作文 (制限時間 60分)

文章訳 各15点×4題

文法問題 20点

用語訳 各4点×5題<sup>10)</sup>

#### c. 合格点 各60点

#### d. レベル 大学在学者程度<sup>11)</sup>

### 4. 問題分析と出題傾向

英文解釈、英作文ともに、比較的短い文章の翻訳である。貿易取り引きの流れを念頭に置いて1通のコレポンの内容を把握したり、作成したりという問題ではない。断片的で機械的な翻訳能力を問うだけである。

用語訳については、対訳のみで、意味の説明は求められない。

---

10) 日本商工会議所編、前掲問題集、23～38ページ。

11) 同上問題集、4ページ。

文法問題は、選択、書き換え、語形変化である。

出題傾向には、偏りがある。1962年から1982年までの文章問題における取り引き段階別出題頻度は、照会・引合40.4%、船積み14.6%、クレーム12.6%、注文11.9%で、その他は各5%未満であった<sup>12)</sup>。1983年以降も上記4項目からの出題頻度が高い<sup>13)</sup>。

## 5. 対策

英文解釈、英作文については、断片的で機械的な翻訳能力を養えば、対応できる。英作文では、細部に至るまで規範的な構文、表現についての知識を養う必要がある。

用語については、対訳を覚えるだけでよい。

文法問題については、前置詞、語形変化などの細部にわたる文法知識を養う必要がある。

以上のことを総合すると、グラマー・トランスレーションメソッドを用いて次のような授業展開をすれば効果的であると思われる。

- a. コレポンの全体的な把握、理解、作成ではなく、断片的で機械的な翻訳練習。
- b. 翻訳の精度を高める指導。
- c. 貿易取り引きの流れを無視して、出題頻度の高い項目中心の授業。
- d. 文法事項、構文、単熟語（特に貿易用語）の暗記。

## V 実務能力養成

### 1. 実務に必要な知識・能力

商業英語はESPの1分野であり、実務能力養成には、実務知識の習得が

---

12) 長野 格, 秋山武清, 岡本祥子『商業英語検定試験—必勝への手引』南雲堂, 1984年, 22ページ。

13) 石田貞夫, 桜庭一郎『貿易英語入門』実教出版, 1977年, 177~185ページ。

必要である<sup>14)</sup>。

読解においては、断片的な文章の翻訳ではなく、貿易の流れの中でコレポンを読み、状況を把握し、1通のコレポン全体の内容を理解することが必要である。内容を確実に捕えることができれば、一言一句に至るまで翻訳する必要はない。

英作文においても、日本語で書かれたコレポンの全訳、部分訳は、実用的ではない。あるシチュエーションの中でコレポンを書くことが必要である。

貿易用語については、対訳だけでなく、意味も知っておく必要がある。

## 2. 対策

貿易取引の流れを説明しながら、それに沿って授業を展開して行くべきである。用語についても、その流れの中で説明すれば、学習者は理解しやすい。

読解、作文については、あまり細部に気をとられないように、意思疎通を優先させる。

以上のことを総合すると、次のような練習をすれば効果的であると思われる。

- a. コレポンを読んで要点を捕え、対応を考える練習。
- b. あるシチュエーションの中でコレポンを書く練習。

## VI 検定対策と実務能力養成の狭間に

前述のとおり、検定対策には、グラマー・トランスレーションメソッドが効果的である。しかし、それだけでは、断片的な翻訳はできても、実務能力は養い難い。逆に、コレポンの内容把握、作成が意味が通じさえすればよいというやり方である程度できても、規範的な構文、表現を無視しては検定合格は不可能である。

---

14) 平田重行『商業英語入門ガイド』大修館、1985年、2ページ。

検定対策、実務能力養成のいずれかに極端に偏った授業展開をすると弊害が出てくる。

### 1. 検定対策に偏った場合の弊害

検定対策に偏った場合、グラマー・トランスレーションメソッドのみを用いて授業をしがちである。

このメソッドにおいては、文法ルールや例外、広い語いを学び、それらを駆使して翻訳することを強調し、書くことにおいてすらも自己表現の訓練はほとんどなされない<sup>15)</sup>。その結果、知識の詰め込みに終始する授業展開となる。また、単調な授業展開となりやすく、学習者は、退屈しがちである<sup>16)</sup>。

言語は意味ある場面に関連して用いられるはずである<sup>17)</sup>。しかし、貿易取り引きの流れ、1通のコレポソ全体の内容を無視した出題頻度の高い項目に関連する文章を単独で翻訳する練習では、学習者の思考と言語活動は結びつき難い。学習者は、貿易取り引きにおけるどういう状況に自分が置かれているのかをはっきり認識できないまま、与えられた文章を機械的に訳してしまいがちである。与えられた文章をなんとか訳すことができても、その意味を理解していないことも多々あると思われる。

翻訳の精度を高め、あわせて文法問題への対策として教師は細部にいたるまで規範的な構文、表現を学習者に身につけさせようとする。そして、学習者のささいな誤りすらも容認しないという態度を取りがちである。そのとき、言語が意思疎通の手段であることは忘れられているようである。その結果、学習者は、畏縮する。そして、細部にばかり気を取られるあまり、意思疎通という大局的な所での学習が難しくなる。

---

15) Rivers, Wilga M., *Teaching Foreign-Language Skills*, The University of Chicago Press, 1968, pp. 16-17.

16) Taira, Tatsuo, An Analysis of the Attitudes and Teaching Methods of High-School Teachers of English, in Juro Sasaki and Tatsuo Taira eds., *THE IDEAL AND THE REAL THE ENGLISH LANGUAGE EDUCATION IN JAPAN*, Kirihara Shoten, 1983, p. 71.

17) *Ibid.*, p. 85.



以上のことをまとめると、検定対策に極端に偏った場合、意思疎通能力養成という語学教育の第一目標を忘れた知識の詰め込みにつながる危険性がある。その結果、実務能力は養い難い。

## 2. 国際英語論議と検定対策

検定対策に極端に偏った場合の弊害は、従来の日本の英語教育における弊害と同種のものである。もちろん、その背後には入試の現実がある。受験勉強が真に英語力をつけることにつながる事が理想であるが、現実の試験問題はそうもいかない<sup>18)</sup>。

1977年度（中学）、1978年度（高校）の文部省学習指導要領改訂では、多量の学習項目を知識として詰め込む従来の英語指導の改善を図り、言語活動を行う能力を育成しようという方針を打ち出している<sup>19)</sup>。近年の国際英語に関する一連の論議の中でも、従来の日本の英語教育についての反省がなされ、改善策が提案されている。

日本における学校英語の現状は、お手本絶対主義である<sup>20)</sup>との指摘がある。安藤氏は、この点について、「旧態依然たるもので『英米人が母国語として使っている英語でなければ英語でない』とか、『そういう英語を話せないのは恥ずかしい』とか、誤りを許容しない態度をとるとか、そういうことが日本の英語教育界の大勢として続いている<sup>21)</sup>。」と述べている。また、「コミュニケーションの英語という点からは、どちらでもいいようなことで、生徒を悩まし、英語嫌いや、英語に自信のない生徒を作りあげている面はないだろうか<sup>22)</sup>。」という疑問もある。

---

18) 小川芳男『話せるだけが英語じゃない』サイマル出版会、1981年、166ページ。

19) 和田 稔『国際化時代における英語教育—— Mombusho English Fellows の足跡』山口書店、1987年、15ページ。

20) 渡辺武達『ジャパリッシュのすすめ』朝日新聞社、1983年、82ページ。

21) 安藤昭一『「国際英語」考——『はしがき』を兼ねて——』、『JELES 関西支部研究集録』（日本英語教育学会関西支部）第11号、1988年3月、1ページ。

22) 西原紀子『「国際英語を考える」手がかり』、『JELES 関西支部研究集録』（日本英語教育学会関西支部）第11号、1988年3月、12～13ページ。

改善への提案としては、お手本絶対主義からの脱却、意思疎通能力養成重視があげられる。中山氏は、「第一に、大多数の日本人はイギリス英語やアメリカ英語を習得すべく努力してきたが、中学から英語を学び始めるので、母語話者と同じような言語能力を習得することは不可能であるという事実を直視し、認識すべきであろう。第二に、意思疎通の観点からは、英語を完全にマスターする必要はないということを再認識しなければならない。第三に留意すべきことは、イギリス英語やアメリカ英語を必要以上に物真似すれば、日本人としてのアイデンティティーを喪失する危険性もあり、避けたほうが賢明であるということである<sup>23)</sup>。」と述べている。

意思疎通能力養成を重視するなら、学習者の英語の間違いについては（少なくとも学習の初期においては）寛大であるべきである<sup>24)</sup>。また、学習者の英語の間違いとみなさず、interlanguageとしてみなす<sup>25)</sup>という方向も示されている。

### 3. 実務能力養成に偏った場合の弊害

コレポンの内容がなんとか把握でき、なんとか通じる英語でコレポンを作成できれば、業務はある程度こなせるであろう。これを実務能力と定義し、その養成に偏った授業を展開すると、次のような弊害につながる。

1 通のコレポンを与えて、やみくもに要約せよでは、学習者は当惑する。どこにポイントを置いて、どのように要約すればよいかわからないであろう。なんとか要約できたとしても、検定試験で問われる翻訳能力の養成にはつながらない。

あるシチュエーションを与えて、やみくもにコレポンを書けでも、学習者は当惑する。どこから、どのように書いてゆけばよいかわからないであら

---

23) 中山行弘『『多国籍英語』に対する七つの必要条件——社会言語学の視点から——』、『JELES 関西支部研究集録』(日本英語教育学会関西支部)第11号, 1988年3月, 22ページ。

24) 小川芳男『英語の教えかた』サイマル出版会, 1982年, 10ページ。

25) 安藤昭一, 前掲論文, 4ページ。

う。苦しまぎれに書けば、規範的な構文、表現を無視した、通じればよいという形の雑なものになる危険性が強い。その結果、検定試験には対応し難くなる。

#### 4. 国際英語論議と商業英語

VI-2で述べたとおり、国際英語論議の中では、一貫して、お手本絶対主義の知識の詰め込み的英語教育を改め、意思疎通能力の養成を重視しようという方向が示されている。しかし、あまりにもこの方向に偏りすぎると、どんな英語でも通じさえすればよいということまで行く危険性がある。そうなれば、当然のことながら、入試には対応できない。

目的によっては、なんとか通じる英語が使えればよい場合もある。例えば、観光を目的とした海外旅行では、なんとか通じる英語が使えれば、ほぼ用は足せる。海外旅行における多種多様な場面を想定して、have, take, put, go, give, get, make の7動詞で対応する会話法も紹介されている<sup>26)</sup>。

学習のモデルを英または米の共通語にするか、日本式英語にするかは、国際英語論議の中で論を分ける。安藤氏は、「努力目標のモデルには、世界中で最も広く通じる英または米の共通語を選ぶのがよい<sup>27)</sup>。」としている。渡辺氏は、「日本人のための英語のモデルとか枠組を設定することは非現実的な提案としか言いようのないものである<sup>28)</sup>。」と述べている。しかし、中山氏は、「健全なニッポン英語を志向すべき時期に来ているのではなかろうか<sup>29)</sup>。」と提案している。渡辺氏は、「交流を実践していく過程で、英語を進歩、進化させて、日本人の英語というはっきりした型を作り上げることの方が意義がある<sup>30)</sup>。」と述べている。

---

26) 西村喜久『西村式で旅行英会話はペラペラ』明日出版社、1988年、58～178ページ。

27) 安藤昭一、前掲論文、4ページ。

28) 渡辺和幸「日本人のための国際英語とは」、『JELES 関西支部研究集録』（日本英語教育学会関西支部）第11号、1988年3月、16ページ。

29) 中山行弘、前掲論文、22ページ。

30) 渡辺武達、前掲書、60ページ。

商業英語の分野においても、なんとか通じればよい式の英語やジャパリッシュでも、なんとかある程度の業務はこなせるかも知れない。しかし、この分野においては、そうした英語では不十分である。学習目標のモデルは、英または米の規範的な英語とすべきである。

商業英語においては、例えば、“We do.”ではなく“We are pleased to do.”と表現したり、直接疑問を避けて間接疑問を用いるなどの文体上の特徴がある<sup>31)</sup>。平叙文の割合が非常に高いことも手紙文の特徴である<sup>32)</sup>。

商業英語の入門書には、「取り引きの安全保障と、企業の権威とを守るには、かなりレベルの高い英語を目標としなければならない<sup>33)</sup>。」と述べられている。他の入門書には、「商業通信文は、どうしても相手に読んでもらい、当方の意図するところを知ってもらえるようなものにしなければならない。このような商業通信文を作成するための基本的な心構えとして、Conciseness (簡潔), Correctness (正確), Courtesy (丁重) の Three C's<sup>34)</sup>が必要であるといわれている<sup>35)</sup>。」とある。つまり、通じればよい式の英語やジャパリッシュでは、誤解を生じたり、相手の反感を買ったりする可能性がある。そして、商業紛争の原因となったり、手紙を読んでもらえなかったりするような事態も起こりかねない。

## 5. ジレンマの共通性と克服の難易度

近年の国際英語論議の中に、日本の英語教育全般におけるジレンマを見ることが出来る。入試対策と意思疎通能力養成の狭間に立つ葛藤である。商業英語においても、同種のジレンマを見ることが出来る。検定対策と実務能力養成の狭間に立つ葛藤である。

---

31) 羽田三郎『ビジネス英語の公式』ジャパントイムズ, 1971年, 38~39ページ。

32) 長野 格, 野口博一『商業英語文法教本』大修館, 1981年, 1ページ。

33) 平田重行, 前掲書, 26ページ。

34) 羽田氏は, Clearness, Character を加え, Five C's としている。: 羽田三郎『ビジネス英語正攻法』研究社, 1988年, 49~55ページ。

35) 石田貞夫, 桜庭一郎, 前掲書, 19ページ。

意思疎通能力を養いながら入試対策を施すことは、容易ではないと思われる。しかし、商業英語初級クラスにおいては、両目標達成のための対応策は比較的立てやすい。理由としては、1) 取り扱う内容がより限定的で、2) 検定試験の出題方式もよりバラエティーが少ないこと、があげられる。

## Ⅶ 効果的な授業展開への提案

### 1. ESP の分類とカリキュラム

図1に、ESP コース分類の例をあげる。各コースごとに、適切なカリキュラムを組み、授業を展開すべきである。

本稿に提案する授業展開は、全日制1年次と夜間一般クラスに準拠したものである。大学における商業英語初級クラスにおいても、目標、コース概要が上記2つのクラスとほぼ同じであれば、ここに提案するような授業展開で対応できることが予想される。しかし、どの商業英語のクラスにもあてはまるものではない。

### 2. アプローチ

商業英語初級クラスにおける前述の2つの目標達成のための効果的な授業展開とはいかなるものであろうか？—ある程度の実務知識を身につけさせながら、規範的な構文、表現を教え、あわせて、意思疎通能力を養わせるような授業展開をすれば、効果的である。

実践的なシチュエーションの中で、規範的な英語を使わせるようなアプローチをすれば、効果的であると思われる。

### 3. メソッド

グラマー・トランスレーションメソッドとコントロールドライティングを用いる。

前者についての弱点は、Ⅵ-1に述べられているとおりである。しかし、

検定試験に対応できるような翻訳能力を身につけさせるためには、このメソッドを使わざるを得ない。また、訳すという活動を学習者の思考と結びつけさせるような配慮（具体的にはⅦ-4で述べる）をすれば、その弱点は、ある程度克服できる。

該当する取り引き段階で、習得目標とされる構文、表現を徹底させ、運用能力を高めさせるには、それらがあるシチュエーションの中で実際に使わせてみる必要がある。この場合、コントロールドライティングが効果的である。

このメソッドは、いかなるレベルにおいても、下記のような場合に対応できる。

1. before free writing, when students practice a grammatical point or syntactic structure within a text and not just as a sentence exercise, and, at the same time, use that text as a source of vocabulary, ideas, idioms, and organization to help them in planning their own piece of writing
2. after free writing, when we see what problems our students are having and assign a controlled task to give them practice with the problem areas<sup>36)</sup>

前述の目的が上記1の項目にほぼ適合することが、このメソッドを用いる根拠である。

このメソッドの利点については、次のように述べられている。

1. It allows the students to concentrate their effort on expressing their own meanings.
2. Because it is controlled by means of the complexity of sentence patterns, the students make less mistakes, that is bound up with increasing their confidence.
3. It allows the students to apply the sentence patterns discussed in

---

36) Raimes, Ann, *TECHNIQUES IN TEACHING WRITING*, Oxford University Press, 1983, p. 96.

class to new contexts.

4. Because situations are given, it is easy for the students to write within a short period of time.
5. It allows the teacher to spend less time correcting the students' compositions.<sup>37)</sup>

#### 4. テクニック

貿易取引の流れに沿って授業を進め、各取引段階におけるテキスト中のコレポンを読む。その中で、貿易用語や実務に関する説明をする。規範的な構文、表現についても、ふれさせる。使用テキストに準拠した練習帳を作り、内容把握やライティングの練習をさせる。

学習者の言語活動と思考を結び付け、授業の活性化を図るためには、ロールプレイの要素をもたせることが必要である。ロールプレイにより、学習者は、教室外で演じるかも知れない実際の役割、それにかかわる言葉、態度を練習できる<sup>38)</sup>。学習者に作業をさせるときには、だれの立場でそれを行っているのかを、はっきり認識させるべきである。ロールプレイの効用については、次のように述べられている。

Textbook characters can be made more alive if students are encouraged to assume the characters' roles and correspond with each other in those roles. In this way, they can continue the material of the dialogs and stories in the textbook.<sup>39)</sup>

各取引段階を1ユニットとし、各ユニットごとに3つのステップで授業展開をする。1ユニットにおける3つのステップでの指導が終われば、次のユニットに進む。

各ステップにおける活動と、その順序は次のとおりである。

---

37) Nakamitsu, Yoshiaki, *op. cit.*, p. 147.

38) Livingstone, Carol, *Role Play in Language Learning*, Longman, 1983, p. 6.

39) Raimes, Ann, *op. cit.*, p. 88.

## a. ステップⅠ

1. 貿易取り引きの流れを説明し、該当する段階での実務について理解させる。
2. テキスト中のコレポンを読ませ、資料3-aに示すようなフォーマットを用いて、必要な項目を書き込ませる。
3. 前述のコレポンを和訳させる。

だれの立場で和訳しているのかをはっきり認識させることにより、グラマー・トランスレーションメソッドの弱点は、ある程度克服できる。和訳の段階で貿易用語の説明もする。

## b. ステップⅡ

1. テキスト中のコレポンと類似したシチュエーションを与える。
2. 本文を、1)書き出し、2)本題、3)締め括り、の3部分に分け、各部分で何を述べるかを説明する。
3. 資料3-bに示すように、各部分ごとに基本構文、表現を与えて書かせる。
4. 各部分を全て組み合わせて、本文を書かせる。

シチュエーションについては、国内の架空の会社と海外の架空の会社との間の取り引きを設定する。次のユニットでの授業では、この2社間の取り引きが次の段階に進んだという設定をする。つまり、ユニット1では、学習者は日本側の会社の社員を演じ、本文を書く。次のユニットでは、取り引き相手を演じ、返事を書く。このように、2社間の取り引きが進んで行く過程に沿って、一人二役のロールプレイを展開する。

国内の架空の会社については、身近に感じられるようなものを設定するという気配りが必要である。例えば、広島のある学校における授業であれば、会社の所在地は広島とし、メインバンクは広島に実在するものを選ぶ。

## c. ステップⅢ

1. 資料3-cに示すように、ステップⅡで与えられたシチュエーションに追加条件を設定する。



2. 追加条件を加味して、1通のコレポンを作成させる。

ステップⅢのシチュエーションは、ステップⅡのものと同じとする。

このステップにおいては、現実感を与えるために、レターヘッド入りの用紙を使わせる。

## VIII おわりに

本稿においては、商業英語初級クラスについてのみ述べた。初級クラスは、ほんの動機付けであり、輸出入業務における実務能力を養うには、これでは不十分であることは言うまでもない。

輸出入業務には、英語力だけでなく、貿易、保険、金融などの幅広い知識が必要であり、英文タイプ、ワープロなどの技能も必要である。したがって、学習者は、貿易実務を扱う科目を、あわせて履修すべきである<sup>40</sup>。とりわけ、初級終了者を対象としたカリキュラムについては、英語教師だけの手に委ねられるのではなく、関連分野との連携が不可欠である。

本研究を進めるにあたり、資料を提供してくださった広島 YMCA ビジネス専門学校、梶原宣俊副学校長、Robert Y. Masuda 先生、川辺純子先生をはじめ同校スタッフに対し、感謝の意を表します。

本稿は第14回全国英語教育学会、京都研究大会（1988年8月4日・5日、於 京都パークホテル）において、「商業英語初級クラス—実務能力養成と検定対策の狭間に」と題して発表したものに加筆修正したものである。

---

40) 平田重行, 前掲書, 3 ページ。

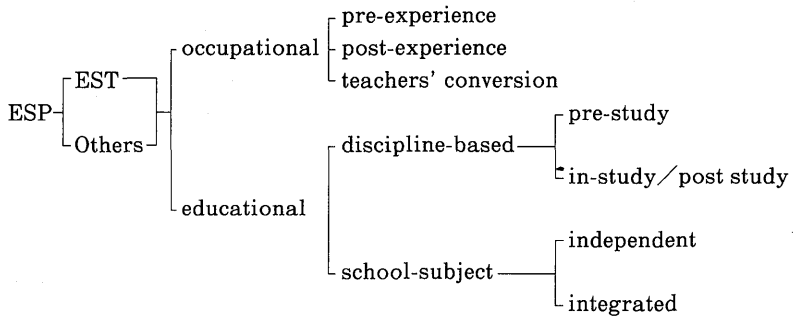
表1 コース概要

	全 日 制 (1986年度)		夜 間 一 般 (1987年度)
	1 年 次	2 年 次	
対 象	全 日 制 学 生		商業英語に興味を持つ人
人 員	約20名~40名		定員10名
時 間 数	週 2 時 間 年約60時間	週 1 時 間 年約30時間	コレポン：10時間 会話・その他：10時間 <sup>※</sup>
主 要 テ キ ス ト	石田貞夫・桜庭一郎著 『貿易英語入門』 実教出版。	日本商工会議所編 『商業英語検定試験 問題集 CD 編』日 本商工出版。	羽田三郎著『ビジ ネス英語の公式』 ジャパントイムズ。
内 容	基本的な貿易の流れと 貿易取り引きの各状況 で使われる通信文を読 み、内容を正確に理解 し、練習問題を通じて 基礎的な貿易英語を身 につける。	一年次に身につけた 基礎的な貿易英語に 基づいて、ビジネス レター、コレスポン デンスを作成する能 力を養成する。	企業活動にまつわる 諸文書、レポートな どを書く力を養い、 さらに状況を与えて 一種の自由作文とし てのレターライティ ング練習をする。

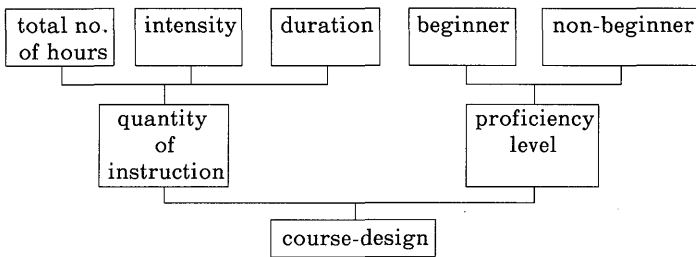
出所：専修学校，広島 YMCA ビジネス専門学校教科概要  
各種学校，広島 YMCA ビジネススクールビジネス実務コース案内。

※) 会話・その他については，本稿においては言及しない。

図1 ESP の 分類



(a) *Types of ESP*



(b) *Pedagogical Dimensions*

出所：Strevens, Peter, *op. cit.*, p. 92.

資料1. 授業で取り扱う範囲

a. 全日制

使用テキスト：石田貞夫，桜庭一郎

『貿易英語入門』

実教出版，1977年。

範囲：第1章～第8章

第1章 英文商業通信文	1
1. 英文商業通信文の構成要素とその配列	2
1. 構成要素とその配列	2. 必要構成要素
3. 特殊構成要素	4. Style と Punctuation
2. 英文商業通信文作成上の心構え	19
1. The Three C's	2. 英米両国の通信文の相違点
3. 書簡用紙と封筒	21
1. 書簡用紙	2. Margin と Spacing
3. 封筒	
第2章 取引関係の創設に関する文書	27
1. 取引先の選定	28
Useful Expressions	
2. 信用調査	30
1. 信用調査の依頼	2. 信用調査の回答
Useful Expressions	
3. 取引開始の申込みと回答	34
1. 取引開始の申込み	2. 取引開始申込みの承諾
Useful Expressions	
4. 取引条件協定書の交換	40
Useful Expressions	

第3章 売買条件の折衝に関する文書	47
1. 売込みと引合いに関する文書	48
1. 売込み	2. 引合い
Useful Expressions	
2. Offer の交換	53
1. 売申込み	2. Counter Offer
3. Offer の承諾	Useful Expressions
第4章 注文に関する文書	61
1. 発注に関する文書	62
Useful Expressions	
2. 受注に関する文書	66
Useful Expressions	
第5章 銀行との取引に関する文書	71
1. 信用状	72
1. 信用状の開設	2. 信用状の内容
Useful Expressions	
2. 為替の予約	78
第6章 運送と保険に関する文書	81
1. 運送に関する文書	82
Useful Expressions	
2. 保険に関する文書	84
Useful Expressions	
3. 船積通知に関する文書	87
Useful Expressions	

第7章 商品代金・手数料などの取立と支払に関する文書	93
1. 商品代金の取立と支払に関する文書	94
1. 輸出入商品の代金の決済	2. 外国為替手形
2. 手数料などの取立と支払に関する文書	98
1. 手数料などの支払請求	2. 支払通知
3. 送金受領の通知	Useful Expressions
第8章 Claimに関する文書	105
1. Claimの申入れ	2. Claimの解決
	Useful Expressions

## b. 夜間一般

使用テキスト：羽田三郎

『ビジネス英語の公式』

ジャパンタイムズ, 1971年。

範囲：丸印の項目

## 第I編 準 備

## — 私用からビジネスへ —

○ 第1章 学校英語からビジネス英語へ	11
○ 第2章 だれにも必要な Business English	15
○ 第3章 Thank-You Note は自分で書く	20
第4章 留学の第1歩は手紙から	25
第5章 就職と履歴書	30
○ 第6章 手紙の文体	35
○ 第7章 手紙の外形	41

## 第Ⅱ編 貿易通信

### 第1部 経常通信

○ 第1章 貿易通信のあらまし……………	50
○ 第2章 簡単な引合い……………	54
○ 第3章 引合いに答えて……………	58
○ 第4章 オファー……………	63
○ 第5章 カウンター・オファー……………	67
○ 第6章 売買契約の成立……………	71
○ 第7章 注 文……………	75
○ 第8章 注文に答えて……………	81
○ 第9章 出 荷……………	86

### 第2部 ややむずかしい事態

第1章 信用状について……………	92
第2章 出荷の遅れ……………	98
第3章 契約の変更・取消し……………	102
○ 第4章 苦情と要償……………	106
○ 第5章 クレームに接して……………	110
○ 第6章 クレームの解決……………	115
第7章 取引申込み……………	120
第8章 売込み状……………	126
第9章 市況描写……………	131
第10章 アメリカ式商用文……………	136

資料2. 1986年度(秋)C級検定試験問題

C クラス

## 第28回検定試験問題

(昭61.10.19施行)

**英文解釈**

(制限時間: 40分)

I 次の英文を日本語で書きなさい。

(1) The enclosed catalog will help you make the best choice for your purpose.

解答(20点) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

(2) We believe there is a promising market in our area for your products so long as they are moderately priced.

解答(20点) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

(3) The prices quoted are subject to change as the market for raw materials here is very unstable at present.

解答(20点) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

(4) Your order was cleared through our customs without any difficulty.

解答(20点) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

II 次の用語にあたる日本語を書きなさい。

(1) Proforma Invoice 解答(4点) \_\_\_\_\_

(2) More or Less Terms 解答(4点) \_\_\_\_\_

(3) Notify Party 解答(4点) \_\_\_\_\_

(4) Air Waybill 解答(4点) \_\_\_\_\_

(5) Landed Weight Terms 解答(4点) \_\_\_\_\_



C クラス

第28回検定試験問題

(昭61.10.19施行)

英 作 文

(制限時間：60分)

I 次の日本語を英文で書きなさい。

- (1) 条件は値段表に記載したとおりです。恐らく見逃していらっしゃると思います。

解答 (15点) \_\_\_\_\_

- (2) 当社最新のカatalogを同封いたしますので、どうぞその中からお気に入りの品をお選びください。

解答 (15点) \_\_\_\_\_

- (3) 8月30日ご注文のパソコン150台は10月25日の神戸出港の富士丸で積送の予定です。

解答 (15点) \_\_\_\_\_

- (4) 当社はMR-50型カメラを注文しましたが、本日受け取った品はQR-55型で、しかも5個不足しております。

解答 (15点) \_\_\_\_\_

II 次の各英文の下にある語の中から適切と思われる1語を選び、適当にその形を変えて空所を埋めなさい。

- (1) We are looking forward to \_\_\_\_\_ you again in the near future. (5点)  
sell, serve

- (2) You will see that sizable discounts are \_\_\_\_\_ for larger orders. (5点)  
offer, result

- (3) We have enclosed our order sheet for the \_\_\_\_\_ goods. (5点)  
follow, subscribe

- (4) Ours is a highly competitive market and we have been \_\_\_\_\_ to cut our prices to the minimum. (5点)  
believe, compel

III 次の用語にあたる英語を書きなさい。

- (1) 運賃込み値段 解答 (4点)

- (2) 仕様書 解答 (4点)

- (3) 輸出申告書 解答 (4点)

- (4) 分損担保 解答 (4点)

- (5) 仲裁 解答 (4点)

出所：日本商工会議所編、前掲問題集、25～26ページ。

## 資料 3. 商業英語練習帳の一例

夜間一般クラス『ビジネス英語の公式』準拠

## 3 - a. ステップ I

★次のコレポンを読んで、必要事項をフォーマットに書き込みなさい。

## F. W. Green, LTD.

Directors :

H. Brown

W. Pink

18 Hill Street

LONDON, W. 1

Telephone

REG 1324 (2 lines)

Cable Address : GREEN

12th May, 1971

Osaka Trading Co., Ltd.  
Honmachi 2-15-3, Higashi-ku  
Osaka, Japan

Dear Sirs,

We have seen your Q-tex at the Trade Fair in Osaka and should be obliged if you would quote us your best possible price CIF London for prompt shipment.

We have an inquiry for about 20,000 yards and are ready to open a credit through our bankers, The Empire Bank, London.

Yours faithfully,

F. W. GREEN, LTD.

George Smith  
Import Manager

GS: mj

## フォーマット

発信者：

番号：

発信日：

受信日：

分類：

求められている情報：

品名：

数量：

価格設定条件：

納期：

支払条件：

メインバンク：

情報源：

特記事項：

対応：



3-c. ステップⅢ

★ステップⅡの本文に次の内容を追加し、コレポンを完成させなさい。

- 相手の売り気をそそり、相手が早く返事を書きたくなるような文章を付け加える。
- 補足情報：  
T. W. Tec. の所在地は、87 Broad St., New York,  
N. Y. 1004.

Hiroshima Trading, LTD.

7-11-8 Hatchobori	CABLE ADDRESS HITRA HIROSHIMA
Naka-ku	PHONE (082)223-1111
Hiroshima 730 Japan	FAX (082)227-1234

---

Tokyo Osaka Sapporo London